

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：山田修平・優子 住所：淡路市仮屋302 年齢：ともに39歳</p>	<p>農地：10a（借地10a） 施設：温室 700㎡ 農産物加工・販売所</p> <p>経営内容： ・いちご観光農園 10a ・ジャム製造、販売</p> <p>労働力：夫婦、パート雇用2名 販路：店舗及びネット販売、イベント出店</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>平成24年4月 移住 平成24年9月 就農 平成25年10月 六次産業化法に基づく総合 化事業計画認定 現在に至る</p>	<p>○良かった点 仕事の全てを自分たちで決められる自由さと、この地域で地に足を着けていけば生きていけるといふ安心感。</p> <p>○苦労した点 住む家がなかなか見つからなかったこと。</p>
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<p>（山田修平）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生時代に研修をした生産者の地に足の着いたライフスタイルに感銘を受け就農を志す。また、観光農園での勤務経験から、生産者と消費者をつなぐ場としての魅力と可能性を感じ、観光農園の運営を目指す。</li> </ul> <p>（山田優子）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農家研修をきっかけに、「研究よりも現場の方が楽しいかも」と感じ、お菓子作りを通じた農業との関わりを探る中で、夫と共に勤務した観光農園でジャム作りを担当したことから、農産加工での就農を目指す。</li> </ul>	<p>就農前に出会った言葉の中で印象的だったのは、「農業がやりたいのか、農作業がやりたいのか」ということ。 自分たちは、栽培から加工・販売までをパッケージにしてお客さんに提供することを生業にしたいと思いました。 地域の方や異業種の方たちと一緒に、農業の楽しい部分を伝えていけたらと考えています。</p>